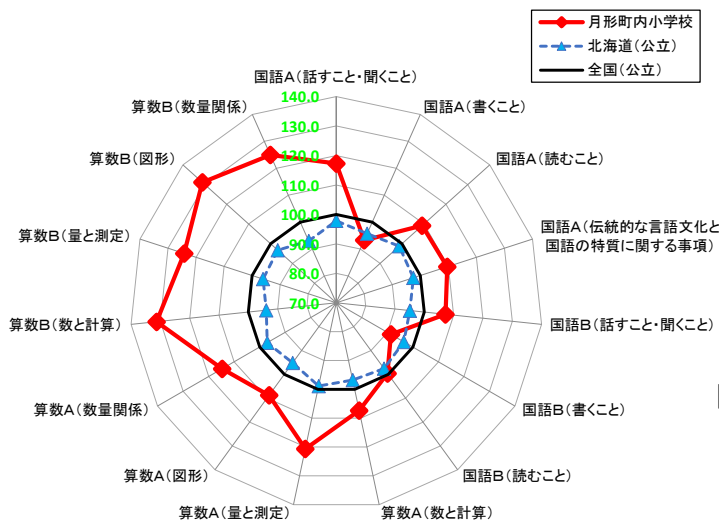


■月形町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1、児童数:14名)

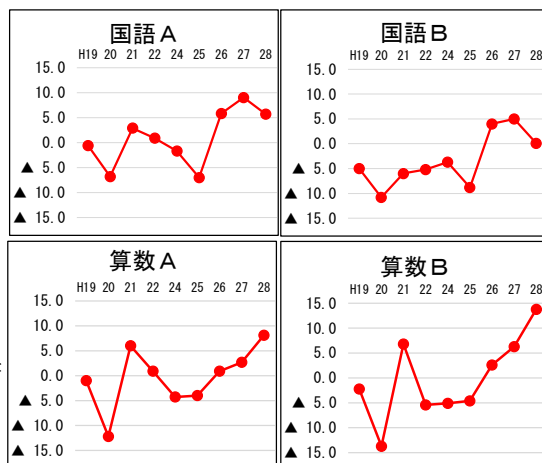
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

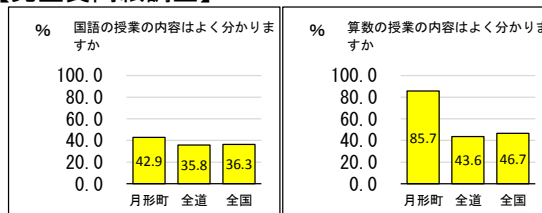


【平均正答率の全国との差の推移】

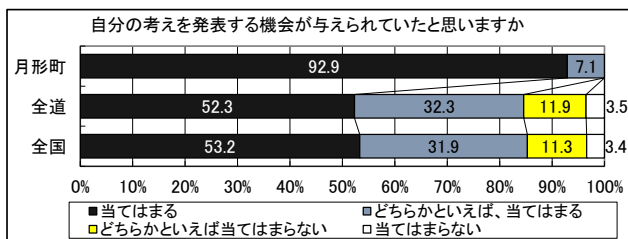


※「平均正答率－全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化

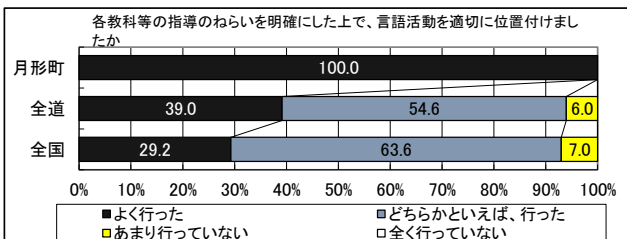
【児童質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	- 国語Aでは「話すこと・聞くこと」、「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、国語Bでは「話すこと・聞くこと」で全国を上回っている。 - 算数A・Bともに、すべての領域で全国を上回っている。	指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付ける授業をよく行った結果、児童が自分の考えを発表する機会が増え、学習内容の理解につながり、国語Aの「話すこと・聞くこと」、「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、国語Bの「話すこと・聞くこと」、算数のすべての領域で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	「5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか」という質問に対して、「当てはまる」と回答した児童の割合が全国を上回っている。	平均正答率の推移については、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付ける授業をよく行った結果、児童の言語活動が充実し、すべての教科で全国を上回っていると考えられる。
学校質問紙	各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付ける授業をよく行っている。	

【月形町の学力向上策】

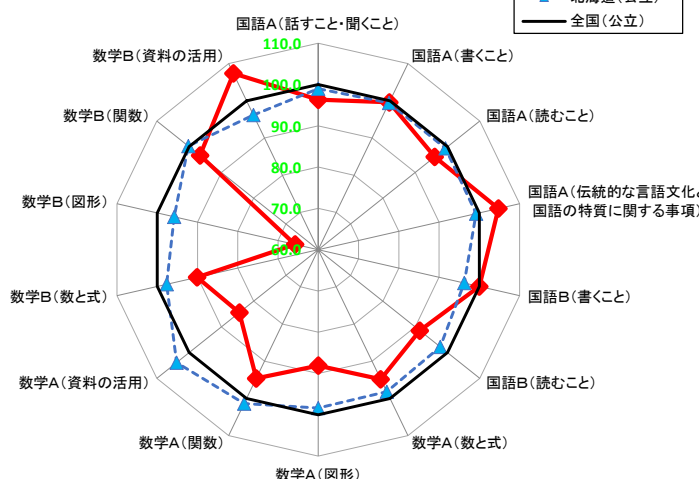
- ◎ 町単費で3名の時間講師を配置
- ◎ 英語検定の推奨(小学生は3級、中学生は準2級、高校生は2級取得で海外短期留学制度)

■月形町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1、生徒数:32名)

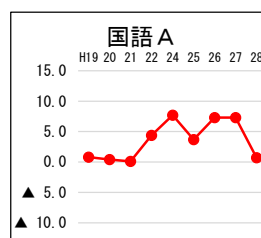
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

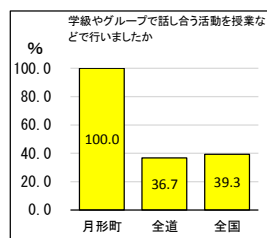


【平均正答率の全国との差の推移】

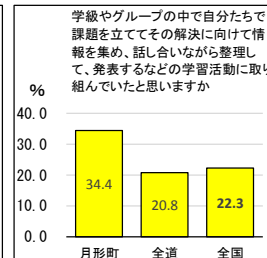
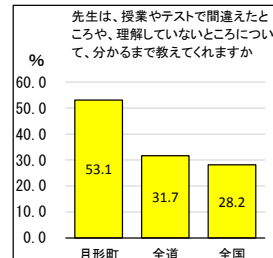


※「平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化

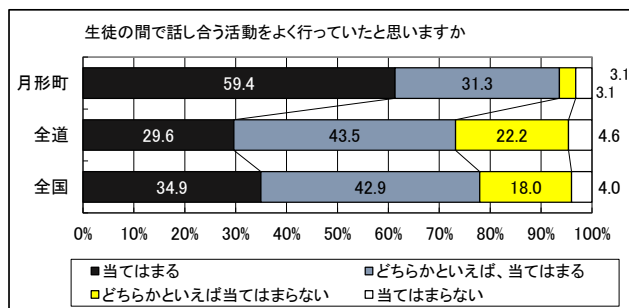
【学校質問紙調査】



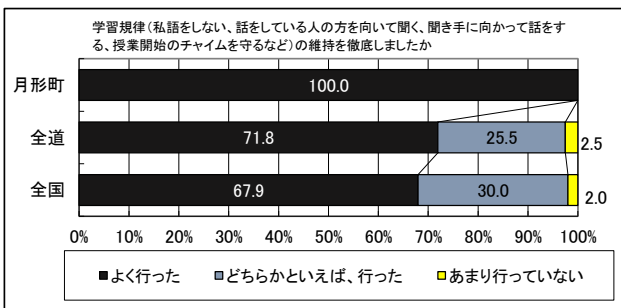
【生徒質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	- 国語Aでは「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 - 数学Bでは「資料の活用」で全国を上回っている。	学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど)の維持を徹底するとともに、理解していないことなどについて生徒に分かるまで教えたことにより、国語Aの「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、数学Bの「資料の活用」で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	「生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか」という質問に対して、「当てはまる」と回答した生徒の割合が全国を上回っている。	平均正答率の推移については、学級やグループで話し合う活動を授業でよく行った結果、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組む生徒の割合が高くなり、国語Aで、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど)の維持を徹底する取組をよく行った。	

【月形町の学力向上策】

- ◎ 町単費で3名の時間講師(数学・外国語)を配置
- ◎ 英語検定の推奨(小学生は3級、中学生は準2級、高校生は2級取得で海外短期留学制度)